



JAしまねびより

2020

1

January Vol.46

◀ 今月の特集 ▶ 島根のいいもの再発見!! 「益田市 スイセン」 西いわみ地区本部



京村牧場から見る聖海
(津和野町 左鏝)

Naomichi


謹賀新年

初春の
お慶びを
申し上げます

代表理事組合長 石川 寿樹

代表理事副組合長 山根 盛治

代表理事専務 高木 賢一

代表 監事 名原 佳宏

役職員一同



代表理事組合長
石川 寿樹

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様には、健やかに新年をお迎
えのこととお慶び申し上げます。

今年も無事に新年を迎えられましたの
も、組合員の皆様をはじめ、地域の皆様
のご理解とご協力の賜物と心から感謝申し上
げます。

昨年は元号が令和に改まり、新しい時代
の幕開けとなりました。令和2年がJAし
まねにとって飛躍の年となりますよう役職
員一同、励んで参りたいと存じます。

また、昨年は全国各地で台風や豪雨など
多くの自然災害が発生し農産物や農業施設
等に甚大な被害が発生いたしました。被災
された皆さまに心よりお見舞い申し上げます
とともに、本年は災害のない穏やかな年
になりますことを願っております。

さて、JAしまねは本年3月で統合5周
年を迎えます。統合効果を更に実感あるも
のとし、組合員の皆様に見ええる形で還
元していくため、自己改革と事業改革を車
の両輪として位置づけ、スピード感を持つ

て取り組んでいかなければなりません。

自己改革においては、「農業者の所得増
大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の
3本柱を掲げて取り組んで参りました。
昨年6月には、島根県と「包括業務提携
に関する協定」及び「島根県農業産出額
100億円増の早期達成に向けた共同宣
言」を締結いたしました。JAしまねにお
いても「第2次農業戦略実践3カ年営農計
画」のもと、農畜産物販売高を39億円増や
し、416億円とする目標を掲げておりま
す。統合したことによるスケールメリット
を活かし、営農指導の強化や生産資材価格
の低減、また、U・Iターン者の新規就農
支援や生産拡大を図る農業者のためのリー
ス事業の展開など、目標達成に向けて組合
員の皆様と共に取り組んでいく所存です。

これらを実現するためには、支援できる
経営の健全性確保に向けた取り組みが求め
られますが、日銀のマイナス金利政策や少
子高齢化等により信用・共済事業の収益減
少が避けられない状況にあります。このた
め、JAしまねの収支構造の迅速かつ抜本
的な改革を実施する必要性に迫られており、
本店・地区本部一体となった組織再編が必
要であります。

まず一つ目は、信用事業のあり方の見直
しを図ります。本年2月末をもって各地区

本部の金融・共済部署を発展的解消し、本
店と地区本部の重複業務を本店に集約する
ことで機構、人員を見直し、信用事業のス
リム化・効率化を進めていきます。

また、金融店舗、ATM等については、
地域の生活基盤としての役割・利便性を確
保しつつ、採算性や効率性を十分検討し、
施設の集約や再配置、広域利用、運営方法
の見直しも平行して進めていきます。

二つ目の重要課題は営農経済事業改革で
あります。昨年より、経営基盤強化支援と
して、全農、農林中金、三菱総研にコンサ
ルトメントに入っていたいただいており、営農経
済事業の収支改善に向けた取り組みを進め
ております。

大変厳しい経営環境の中ではあります
が、今後も組合員、地域の皆様から、「信
頼され、選ばれ、必要としていただけるJ
A」を目指し、役職員一丸となって改革を
推し進めて参ります。組合員の皆様におか
れまして、ご理解とご協力を賜りますよ
うお願いいたします。

結びに、組合員、地域の皆様にとりまし
て、本年が実り多く、健康で明るい年とな
りますようお願い申し上げます。年頭の挨拶と
させていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

島根には誇れる農産品がたーっさん!

島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

益田市 スイセン

1月は、西いわみ地区本部。益田市でスイセン作りに取り組む両見勝さんにお話を伺ってきました。



昔から身近にあった スイセン

スイセン栽培が盛んな益田市鎌手地区。スイセンは今や益田市の花として有名ですが、このあたりでは昔からあらゆる場所で自然に咲いていたそうです。両見さんが幼い頃は、自生していたスイセンを摘み取り、最寄り駅に持っていくと業者の人が汽車で広島の花市場まで届けてくれるような「お小遣い稼ぎ」の仕組みがあったのだとか。その後、両見さんは郵便局員として働きながら米や麦を作る兼業農家をしていましたが、1970年代から始まった国の減反政策で稲作を少なくすることを余儀なくされま



お話を伺った両見勝さん。

した。また、畑では葉タバコを作る農家もありましたがそれも減少していき、皆が試行錯誤しながら生活する時代を送っていました。そんな時、隣の三隅町（現・浜田市）に火力発電所が建設されることになり、その予定地の用地買収が始まる前にお願いで、自生していたたくさんのスイセンの球根を掘らせてもらいました。1983年頃からそれらを休耕田に植え、商品用のスイセン栽培を本格的にスタートさせました。



整列して植えられたスイセン畑。

手探りで始めた スイセン栽培

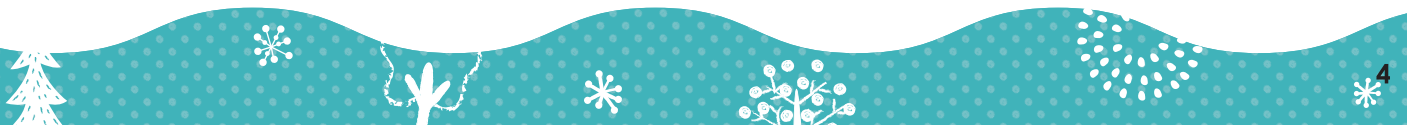
スイセン栽培を始めた頃、何軒かの農家が集まり「鎌手

水仙部会」を結成。当時はその中で一番若かったという両見さん。栽培方法もよくわからず、ただひたむきに球根を植えていきました。最初はひとつずつ球根を植え、それが5、6年経つと繁殖しどれも皆きれいな花を咲かせるような球根に育っていきます。この作業を何年も繰り返し、球根は増え続け、今では複数の畑を所有するまでに広がりました。時には国内でも有名なスイセンの産地である福井県越前町や兵庫県の淡路島などへ視察に出かけ、栽培方法について学びました。

スイセンは他の花に比べると作りやすく、特に肥料などを必要とすることなくきれいな花を咲かせます。また、他の農作物に比べ機械は要らず、一年を通して草刈機が



スイセンの球根。自然に分球し、繁殖していく。





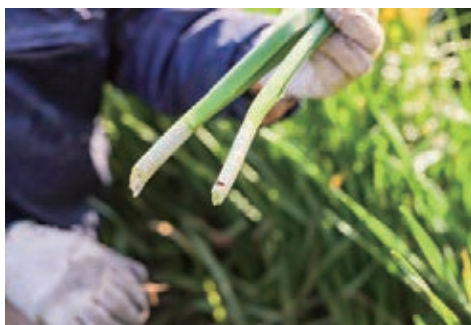
長いスイセンが良いとされるため、周りの雑草を支えとして利用する。そのため、わざと草刈りをしないそう。

あれば十分なのでコストを抑えながら栽培することが可能です。しかしここ最近では気候の変化のせいか「なかなか思うような花が咲かなくなってきた」と語る両見さん。それでも水仙部会の中で色々な情報をやり取りし、良さそうな肥料や植え付け方法を少しずつ試しながら現在も栽培に取り組んでいます。

いちばん寒い時期が 出荷のピーク

通常スイセンは、4月頃に葉っぱがすべて枯れ、しばらく過ぎた6月から球根を掘り起こします。その後、それらの球根を干しておき、9月頃に定植していきます。例年11月の半ばから花が咲き始め、12月には出荷の時期を迎えます。出荷する際にいちばん条

件の良い状態は、「葉っぱが4枚、花が4つ」ついでいて、さらに「はかま」と呼ばれる球根の上にある白い筒状の部分の長さで優劣が決まるため、これを一本ずつ丁寧に分けていくのにとっても労力がかかります。また、スイセンの出荷ピークは一年で最も寒い時期。基本的に露地栽培なので、天気が悪い日の切り取り作業は非常に大変です。それでも出荷日は決まっているので、雨や雪が降ったり冷たい風が吹く中でも作業を行わなければなりません。



根元近くの「はかま」と呼ばれる部分。

スイセンが 地域を元気にする

毎年、鎌手小学校では「スイセン学習」と題し3年生の

児童が両見さんの畑で作業を行います。児童たちは、球根掘りから定植、そして花の切り取りと一年を通してスイセンの成長を学ぶことができます。この校外学習は都会地など他の地域ではなかなかできない貴重な体験であり、約20年前からずっと続く鎌手の大切な行事となっています。併せて年末には、萩・石見空港で羽田からの搭乗者にスイセンの花束を手渡すキャンペーンも行われています。鎌手の子どもたちにとっては、スイセンはいちばん身近な花であり、この地域を知り、PRするための大切な存在となっています。両見さんもこのスイセン学習を通して育まれる地域の子どもたちとの繋がりを大切にしています。

次の世代の人にも 届けたい

こうして、地域を元気にし交流の場を提供してくれるスイセンですが、年齢を重ねていくうちに畑での作業が体力的にきつくなってきたという両見さん。最近、葉が枯れた後の球根をそのまま据え置き栽培し、主に切り取り作業に専念しているそうです。水仙部会のメンバーも皆ほとんど高齢になってきています

が、次の世代を担う若手の後継者がなかなかいないのが現状。昨今、ど

この農家でも抱えている課題ではありますが、両見さんは毎年楽しみにしている人たちのために、この美しいスイセンを次世代に繋いでいきたいと願っています。



週3回の集荷日に合わせて切り取り作業を行う。

スイセン 一口メモ

さわやかで柔らかな香りが特徴のスイセン。益田市鎌手地区にある「唐音水仙公園」には、例年12月の終わりから2月にかけて白いスイセンが一面に広がります。日本海を背に広がるスイセンの丘の景色は圧巻で、写真を撮りに訪れる人もたくさんおられます。この公園のスイセンは鎌手地区の住民が何十年もの間ひとつずつ球根を植えた言わば手作りの花畑。住民の思いが詰まった絶景を見に、ぜひ訪れてみてください。



西いわみ地区本部 **新鮮市場 あおの**



野菜生産部会の木村大輔部会長

産直へようこそ!!

可成り産直が盛んな地域の特産品「サトウキビ」
 島根県内の産直店舗を「紹介」します。



県内でも有数の観光地である津和野町。そんな津和野町の道の駅内にある産直「新鮮市場あおの」は、里山と「山陰の小京都」の食文化を支える山の幸が勢ぞろいし、観光客や地元の人々で賑わう。

今年の3月にリニューアルされた売り場に並ぶのは、全て津和野町産の新鮮な農産物と加工品。冷蔵・冷凍設備を新たに設置し、これまで以上に多彩な商品を扱えるようになった。約140人の野菜生産部会員から出荷される商品の中には、他の産直では見かけない珍しいものもあるという。当日も津和野産サトウキビが陳列されていて、取材班も驚いた。生産部会の木村大輔部会長は「県外からのイターン就農者による新しい



ガーリックオイルや冬瓜ジャムなど加工品も津和野産



冬が旬(!?)の津和野町産サトウキビ!



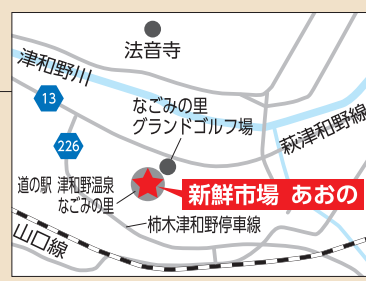
小京都の冬を代表する味覚のひとつ 葉ワサビ



陳列箱で津和野の観光名所を紹介 さすが観光地の産直です

も、研修を終えた新規就農者が同産直へ出荷し、産直が賑わうことを心待ちにしている。1月にはイチゴや葉ワサビといった冬の農産物が並ぶ。また、農産物が少なくなる冬の時期でも、道の駅近くの加工所を活用して加工品を充実させるなど、1年を通して訪れる人々にとって魅力的な産直となるよう創意工夫を凝らす。道の駅津和野温泉なごみの里には、同産直のほか、日帰り温泉やレストランが併設されており、津和野の新たな魅力を発見できる。津和野を訪れた際にはぜひ立ち寄りたい。

発想が、これまでの津和野になかった新しい物を生み出している」と新たな仲間の活躍を喜ぶ。ここ何年かイターンによる就農希望者が増えているという津和野町では、現在も数名が研修で農業を学んでいる。木村部会長



店名：新鮮市場 あおの
 所在地：島根県鹿足郡津和野町鷺原イ256
 (道の駅津和野温泉なごみの里内)
 TEL：0856-72-4122
 営業時間：9:00~21:00
 定休日：年中無休

雲南

雲南女性部大東支部 男の料理教室開催

J Aしまね雲南女性部大東支部は11月30日、雲南市大東町の佐世地区振興協議会の生涯学習部と共催で「男の料理教室」を同町の佐世交流センターで初めて開催しました。

参加者の募集は協議会が行い、32歳から72歳までの8人が集まりました。女性部は講師として参加。見事な包丁さばきを見せる参加者もあれば、日頃から調味料を目分量で加えている人は計量に四苦八苦するなど和気あいあいと進め、家の光協会が発行する『家の光』に掲載された「牛肉入りキムチごはん」「ハクサイのぐつぐつ煮」「カリフラワーの和風ポタージュ」の3品を作り上げました。家庭菜園で無農薬の野菜を作ることもある吉木文雄さんは「普段から簡単なみそ汁などは作っているが、今度は自家製の野菜を使って家族に振舞いたくなった」と笑顔で講座を振り返りました。

大東支部の高橋美佐子部長は「女性部のことを地区の男性に知ってもらえるいい機会になった」と話し、今後は他の地区にある活動団体とも協力して、女性部活動の輪の更なる拡大に意欲を見せます。



料理の手ほどきをする女性部員

くにびき

防犯訓練実施！ 職員が防犯の意識高める

くにびき地区本部は12月6日、乃木支店で、松江警察署の協力のもと防犯訓練を実施しました。

同訓練は犯罪が増える年末に向け、防犯マニュアルや役割分担などの再確認と意識の高揚を図り、犯罪の未然防止や早期解決につなげることを目的に実施するものです。

当日は、店内に2人組の強盗が入ったという想定で訓練を開始。強盗に扮した警察官が来店者役の職員を人質にとり、本物さながらに金を出すように脅迫。職員はマニュアルに従い、非常通報装置を押したり、人質の救護をしたりするなど、緊張しながらも適切な対応をとりました。また、聞き込み役の警察官に、逃走した犯人の容姿や車両ナンバーなど、早期解決に向けた情報を伝えました。

訓練終了後、同警察署の生活安全課岡田仁係長は「何よりも命を守ることが重要。そのうえで、それぞれの役割を再度確認してほしい」と注意喚起し、春木透支店長は「職員全体で防犯意識を高めていきたい」と話しました。



早期解決に向け、情報を伝える職員

隠岐

ご来店感謝デーを実施

J Aしまねの全支店で12月13日（金）、日頃のご愛顧に対する感謝の意をこめて「ご来店感謝デー」を実施しました。隠岐地区本部では管内4か所の各支店・店の窓口において実施し、多くの組合員、J A利用者へご来店いただくため、店頭での看板告知やイベント開催予告チラシ配布を行い、当日には約300名のお客様にご来店いただきました。ご来店いただいたお客様には、「年末に必要なお掃除用品や日用品の詰め合わせ」をプレゼントさせていただきました。ご来店された組合員からは「えっ、こんな物もらっているの！ 今日来てラッキーだわ」など喜んでいただきました。

また、「J Aでホッと一息」をコンセプトに店舗内にコーヒーやお茶を楽しんでいただけるコーナーを設け、J Aと組合員とのコミュニケーションの場を設けさせていただきました。

J Aしまねは、今後とも組合員・利用者の皆様の期待に応えられるよう、一層取り組んで参りますので、引き続きのご愛顧をよろしく願います。



やすぎ

やすぎ苺 出荷本格化

島根県最大の苺産地である安来市で11月15日、今年度の共選出荷が始まり、これから出荷が本格化してきます。今の時期に出荷される苺は開花から40日以上かけており、手間ひまをかけた分糖度が増すためとても甘く、市場でも好評です。

やすぎ苺部会は、63戸の農家が584アールで栽培しており、U・Iターンの若手新規就農者からベテランまで幅広い層の農家で構成されています。出荷は来年5月末頃まで予定しており、島根と鳥取の5市場へ「紅ほっぺ」84.5トン「章姫」36.2トン「かおりの」12.1トン約1億5,900万円の販売を目標としています。

同地区本部の苺担当の黒田真一係長は「安来の苺は冬から春まで長期間にわたり出荷をしておりますので、ぜひ味わっていただきたいです」と話しました。



斐川

あぐり探検隊 「餅つき」「そば打ち」体験

12月8日、斐川地区本部料理教室「ひかわアグリキッチンふぁみーゆ」で、今年最後の農業体験活動「あぐり探検隊」を開きました。隊員とその保護者15名が参加し「餅つき」と「そば打ち」体験をしました。「餅つき」で使用したもち米は、今年5月に隊員自ら田植えをし、刈り取ったもち米を使用しました。事務局と女性部が手ほだきをし、約20キロを昔ながらの臼と杵を使って挑戦し、隊員たちは力いっぱい杵を振り下ろして餅をつきました。また、斐川産のそば粉（出雲の舞）を使用した「そば打ち」では、荘原地区の糸賀充氏と高橋義孝氏の指導の下、隊員たちは真剣な眼差しでポイントを学びました。担当職員は「この活動を通して子供たちが少しでも農業に関心を持ってくれると嬉しい」と話しました。隊員たちは全講座を修了し、食べ物の大切さ、農業の大変さを学びました。



隠岐
どうぜん

来店感謝デー開催

師走の年金支給日12月13日（金）に毎年恒例となった来店感謝デーを実施しました。

当地区本部3支店の統一粗品として、JA海士町農産加工場で海士町産もち米を使用して製造した「紅白餅」を日頃の感謝を込めて来店者にプレゼントしました。また西ノ島支店では、この時期利用者の要望と評判の高い「石焼き芋」を早朝から準備し、そしてグリーンストア（西ノ島）では歳末商品と直売野菜などの「割引歳末大売出し」を同日開催し、多くの方に来店いただきました。



石見銀山

農業用廃プラスチック回収

石見銀山地区本部が参画する大田市環境にやさしい農業推進協議会農業用廃プラスチック適正処理部会は12月2日と3日に大田市内の4会場で農業用廃プラスチックの回収を行いました。

3日の回収会場となった大田市久手町の刺鹿米倉庫では、53名の組合員・利用者が、ビニールや育苗箱、農業用マルチの回収を委託し、2日間で約14トンを回収しました。

今後もJA石見銀山地区本部では、関係機関と連携し、廃プラスチックの回収を通して、環境に配慮した農業の推進に取り組みます。



持ち込まれた廃プラスチックの計量を行う職員

出雲

女性部・やすらぎ会が古着贈呈 JA役職員にも呼びかけ2,337枚

JAしまね出雲女性部と同やすらぎ会が、「古着Tシャツで地域貢献活動」で集めたTシャツを出雲市の高齢者福祉施設「みどりの郷」4施設と就労継続支援事業所「ぼてとはうす」へ寄贈しました。ウエス（汚れを拭く布）として介護に役立ててもらおうと企画したもので、部員、会員のほかJA役職員にも呼びかけ、7～10月にかけて2,337枚を集めました。

12月13日に贈呈式を行い、同女性部の高野智子部長、同やすらぎ会の片伊勢妙子会長が「みどりの郷 出雲」の中尾忠正施設長にTシャツ700枚を贈りました。高野部長は「現場でウエスをよく使われると聞いて企画しました。今後ものようなことでお役に立てるか情報収集し、地域貢献に努めたいと思います」と話しました。



高野部長（中央）と片伊勢会長（右）から中尾施設長（左）に贈呈

西いわみ

就農相談バスツアー 生産現場を見学

島根県主催の就農相談バスツアーが12月7日～8日にかけてあり、県外からの参加者が県内各地の生産者や生産法人、農林大学校などを巡り、経営や作業内容などを見学しました。

同ツアーには関東方面などから17名が参加。一行は県東部の出雲空港に降り立ち、初日は出雲市の生産者、大田市の県立農林大学校を訪ねました。

最終日は県西部の江津市、浜田市と益田市で法人や生産者を訪ねました。

益田市喜阿弥町の国営西部農地開発地でぶどう栽培面積110アールを手掛ける森原孝さん（44）のハウスを訪ねた一行は、森原さんに就農動機や経営規模、就農開始からの苦労や課題などを質問しました。

森原さんは、5年前の就農時に国や県、JAなどの支援事業が役に立ったと答え、参加者に就農時の作物選定にはブドウを選んでほしいと話しました。



本店

シンガポールで西条柿をPR 販路拡大を目指す

JAしまねと島根県は今シーズン、新規輸出先となるシンガポールのドン・キホーテ（現地店舗名：DON DON DONKI）で島根県産柿「西条」を販売しました。台湾や香港といった東アジアへはこれまで輸出していましたが、シンガポールへの輸出は初めてとなります。果物消費が高いアジアで販売し、更なる販路拡大を目指します。

販売したのはシンガポールの5店舗と今年新たに開店した香港の店舗。11月にはJA職員らが現地です「西条柿」「島根あんぽ」「干し柿」を販売PR。現地の人は「西条」の形と黄色の色味が珍しい様子でしたが、試食すると「甘くておいしい」と好評でした。現地のバイヤーからは「生果を来年は倍ぐらい取り扱いたい」と要望があり、対応した職員も「実際に販促して売れ行きや現地の人々の反応もよかった」と手ごたえを得ました。今後は6月のデラウェアやシャインマスカットから西条柿の取扱いへとつながるよう交渉を進めていきます。



島根産西条柿のおいしさをPRした
(写真はシンガポールの店舗)

島根
おおち

地元の味覚を全国へ「味の絆」

島根おおち地区本部では、毎年お歳暮時期に合わせて、管内の農畜産物と加工品を贈答用品として取り扱う『味の絆』の発送を行っています。



この『味の絆』は、管内農畜産物の質の向上を目指すとともに、地元の味覚を全国に味わってもらおうと行なっているもので、北海道から沖縄まで、全国各地に発送しています。取扱う商品は、人気の石見和牛肉のすき焼きセットや管内の加工場で製造したきなつき餅の他、島根おおち地区本部で振興に取り組む特別栽培米「石見高原ハーブ米こしひかり」、「石見高原ハーブ米きぬむすめ」また、石見高原ハーブ米コシヒカリを原料とした純米酒「邑華^{ゆが}」など15種の商品を取扱っています。



今後もより多くの方々にふるさとの旬の味をお届けできるよう、販売数増加を目指し取組みを行ってまいります。

今年度の取扱いは、12月20日（金）の発送をもって終了となりました。

いわみ
中央

米袋でオロチ作り！

いわみ中央女性部金城波佐支部（佐々岡寿美枝部長）は11月3日の波佐文化祭で、神楽に登場するオロチを米袋で作成展示しました。

波佐支部ではこれまでも米袋でウエディングドレスとタキシードなどを作っており、今回は4作品目となります。今回オロチを制作するにあたり、特に頭（かしら）の部分に一番苦労しました。オロチの神楽面を借りるなど試行錯誤の中、製作期間およそ2か月の大作が完成しました。目と口は光るような仕掛けになっており、オロチを見た人は本物さながらの出来栄えに感動していました。

今後は浜田市金城町波佐地区内の「小波の郷」にて常設展示される予定となっています。



本年も宜しく お願い申し上げます

令和2年1月1日
JAしまねくにびき地区本部 役職員一同



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、JAの事業運営に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、天皇陛下の御即位、平成から令和への改元がなされ、お祝いムードに包まれましたが、一方では、前年に引き続き、命に危険を及ぼすような猛暑、強烈な台風や記録的な豪雨災害が各地を襲った一年でした。

農業面では、一昨年十二月の「TPP11」に続き、昨年二月の「日・EU経済連携協定」の発効、十二月には「日米貿易協定」が臨時国会で可決・成立（今年一月一日発効）し、農畜産物の大幅な市場開放への対応を迫られています。また、「米の生産調整見直し」の三年目にあたり、適正生産量に基づく需要に応じた生産が求められています。こうした情勢を踏まえまして、今年も引き続き、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に向け、役員一丸となって取り組んでまいります。

JA運営面では、人口減少や高齢化は全ての事業に影響を及ぼし、長引くマイナス金利政策の影響などにより信用、共済事業の収益が大幅に減るなど、他の金融機関と同様に厳しさが増しており、JAしまねは、「持続可能な経営基盤の確立」に向け経営改革に取り組んでいます。くにびき地区本部においても、全事業部門の効率化・集約化による費用削減を進め、体制整備に取り組み、組織基盤・経営基盤強化を図ってまいります。

詳細は座談会等でご説明いたしますが、サービスが低下しないよう努めてまいりますので、ご理解とご協力いただきますようお願い申し上げます。

本年が、組合員・利用者の皆様にとりまして、よき年となりますよう心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



本部長 栗原 令

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、当JAの事業運営に格別のご理解ご協力を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、元号も「令和」と改元され、新たな時代に期待をする中、ここ近年の天変地異とも云わざるを得ない日本列島を襲う自然災害に見舞われておりますが、本年は平穏な年であることを念じております。

農業・農協に対する状況は変わらぬ厳しいなかではあります。本年も「農業戦略実践3ヶ年計画」を基軸として、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を実現するため、更なる自己改革に努め、組合員・利用者の皆様に「JAしまねくにびき地区本部」を「選んでもらい」「信頼してもらい」「事業を利用してもらう」為にも精進する所存でありますので、より一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も、組合員・利用者の皆様方にとりまして、幸多き年でありませう念じます。ご挨拶とさせていただきます。



副本部長 奥原 展芳





**「東出雲の㊤ほし柿」が
地理的表示保護制度登録!**

畑ほし柿生産組合（森広護組合長・19戸）の「東出雲の㊤ほし柿」が12月10日、鳥根県下で初めて地理的表示（GI）保護制度に登録され、23日に森広組合長らが県庁を訪問し、丸山達也鳥根県知事に報告しました。

同制度は、伝統的な生産方法や気候、風土など生産地の特性が、品質に結び付いている産品について、その生産方法と名称を知的財産として保護するもの。

「東出雲の㊤ほし柿」は東出雲町上意東の畑地区で生産され、上質なあめ色の干し柿で約80度と高糖度ながら上品な甘さの特徴です。粘土質で水はけのよい土壌や寒暖差の大きさを生かした地域特有の生産方法が評価されました。

当日は、森広組合長やJAしまねくにびき地区本部の奥原展



東出雲の㊤ほし柿



芳副本部長など関係者4名が丸山知事のもとを訪れ、登録までの経緯などを報告し、商品についてPRしました。丸山知事は「上品な甘みや食感などの特徴を多くの方に向けPRし、販売量の増加、価格の上昇につながよう」と激励し、森広組合長は「安心・安全の証明をいただけたことを大変嬉しく思う。これを機に知名度を上げ、食べたことがない方にも味わってもらいたい」と話しました。

**牡丹出荷がピーク
箱詰め作業着々と**



丁寧に箱詰めする作業員

八束町のJAしまねくにびき地区本部の牡丹集出荷場で、松江八束大根島牡丹の出荷が最盛期を迎え、職員らは贈答用の箱詰め作業に追われています。牡丹は県花であり、市花でもあり、中でも八束町産牡丹は、年末年始に合わせて大輪の花が咲くように独自の技術で栽培されており、贈答用としても人気が高く、関東を中心に全国各地に出荷されています。

出荷自体は12月中旬から始まっており、集出荷場には、つぼみが膨らんだボタンがずらっと並んでいます。松江八束大根島牡丹協議会鉢部会の竹谷修一朗会長は「毎年研究を重ね、出荷者の栽培技術が上がっている。今年は花の大きさや色など良いものが揃った」と話し、八束特産事業所の平塚敬樹係長は「松江八束大根島牡丹特有の品種の多さを楽しんでほしい」とPRしました。



牡丹の状態を確認する平塚係長（左）と竹谷部会長（右）

出荷数は例年並みの5,000鉢となり、出荷は1月末まで続く見込みです。

令和元年産米追加金が決定!!

1袋でも多く出荷いただきますようお願いします。

JAしまねでは、「農業者の所得増大」を目的に、買取手法を出荷時の「仮単価」と12月の「追加金」の二段階によるお支払いとしておりました。12月に決定しました「追加金」は、以下の通りとなりましたのでお知らせいたします。

★令和元年産米追加金

品 種	等 級	追加金	前年比
JAしまね米（コシヒカリ・きぬむすめ・つや姫）	1～3等	200円/30kg（税込）	±0円
JAしまね米（ハナエチゼン）	1～3等	300円/30kg（税込）	+50円
一般米（その他うるち米）	1～3等	100円/30kg（税込）	+50円
一般米（もち米）	1～3等	350円/30kg（税込）	+250円

【支払日】	支払対象者	支払日
カントリーエレベーター出荷者 紙袋出荷者 ライスターミナル米蔵出荷者		12月25日
		令和2年2月（※2次払いに含めて支払い）

第26回家の光愛読者の集い 『家の光』で仲間と創る協同の絆!

くにびき地区本部は12月14日、「第26回JAしまねくにびき『家の光』愛読者の集い」を営農総合センターで開催しました。『家の光』の愛読者ら約230人が参加し、特別講演やコンサートで会場は笑顔であふれました。

当日は、女性部員でつくる「ゆりかごの会」が『家の光』に掲載された読者体験手記「思い出の母の味」になぞり、それぞれの思い出の味を語り、会場を和ませました。

続いて、地元のお馴染みの「ゆーき」さんのマジックショーと、雲南市在住のおやじバンド「B・East」によるミニコンサートを実施。「ゆーき」さんは軽快なトークとマジックで会場を盛り上げ、「B・East」は、懐かしのグループサウンズを演奏し来場者を魅了しました。

午後からは、大分県の佐伯市役所まちづくり推進課総括主幹の柴田真佑さんが「食と笑いですことやかに」と題し講演。柴田さんは「笑うこと、感動することでガンやウイルス感染細胞を拒絶するナチュラルキラー細胞が活性化すると笑いと健康の繋がりについて説明しました。また友人でもある「はなちゃんのみそ汁」の著者、安武信吾さんとの逸話や、地元佐伯市で取り組んでいる卒業前の高校3年生向けの「菓立つ君たちへの自炊塾」の話では、感極まり涙が溢れ出る来場者が大勢いました。

最後のお楽しみ抽選会では、栗原令本部長や女性部の中島和子部長がくじを引き、当選者には松江大根島牡丹などを贈呈しました。

このほかにも、『家の光』の掲載記事を活用した「ハーバリウム」「布草履」「寄せ植え」などの作品も展示。教育文化センターSan・san館では、くにびき青年連盟の野菜の販売、女性部によるコーヒーマービスなどもあり、来場者は『家の光』を通じて互いに交流を深めました。

講演



講演する柴田さん

マジック & ミニコンサート



マジックを披露するゆーきさん(右)

お楽しみ抽選会



中島部長(左)から野菜の詰め合わせを受け取る参加者



栗原本部長(左)から特等の牡丹を受け取る参加者



演奏するB・East

新鮮な野菜を買い求める参加者



San・san館

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り



笑いに包まれる会場



毎日、5分間読書！
『家の光』を
手にとってください
ご注文は最寄りの
支店・店まで

『家の光』のテーマ 「食と農」「暮らし」 「協同」「家族」

「家の光」は、農家・農村だからこそできる魅力的な暮らし方を提案します。協同する心を育むのは家庭から。「家の光」の誌名には、家族のきずなを強めることから出発し、地域のきずな、みんなで協同しあう心を広げていこうという思いが込められています。

「食と農」「暮らし」「協同」「家族」の4つのテーマをたいせつにしながらか、農家・農村で暮らしがよくなった」と実感できる魅力的な暮らし方を提案します。



記事活用
作品展

展示品を眺める参加者

地元の伝統料理を海外へ 女性部がしじみ料理を振る舞う

NHKワールドで放送されている「Medical Frontiers」のテレビクルーが11月20日、地元の伝統料理を伝える活動をしている当地区本部の女性部の中島和子部長の自宅を訪れ、ロケを行いました。

「Medical Frontiers」は、日本の先端医療や医療機器、機能性食品などさまざまな医療にまつわる情報を海外へ発信する番組。今回は島根の郷土料理の栄養や成分がテーマでした。

当日は、元ミス・ユニバース・ジャパン公式栄養コンサルタントを務めていた外国人レポーターのエリカ・アンギャルさんが中島部長からしじみなどを使った郷土料理4品の調理方法や、ともに試食するところを撮影しました。

中島部長は「緊張したが、楽しく調理できた。地元の伝統料理の良さを世界中の方に知ってもらいたい」と笑顔で話しました。

この模様は、令和2年2月18日(火)からNHKワールドジャパンオンデマンドで配信予定です。

PC・スマートフォンで視聴可能です。

検索 NHKワールド メディカルフロンティア



撮影の様子

組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

くにびきサンタがきた！ くにびきキッズコミュニティ会員企画実施

くにびき地区本部は12月24日、35名の職員がサンタクロースに扮し、各地区に分かれて、くにびきキッズコミュニティ会員の中から抽選で当選した、50戸にプレゼントを届けました。



プレゼントを受け取る子どもたち

「くにびきキッズコミュニティ」は、JA共済の普及拡大と次世代層（子育て世代）とJAとの新たな仲間づくりを目的として、平成21年に設置。毎年会員限定のイベントを行っており、その一環として昨年に引き続き実施しました。

当日は、該当のお宅でチャイムを鳴らすと、子どもたちの喜ぶ声が聞こえ、玄関を開けると、満面の笑みの子どもたちがサンタを出迎えました。サンタは「いい子にしていたかい」などと話しながらプレゼントを渡しました。

プレゼントを受け取った、野津柚希さん（9）、向翔さん（5）、嘉悠さん（3）は「とても楽しみにしていたので、サンタさんが来てくれて嬉しかったです。欲しかったものをもらえたので、大事に使いたい」と笑顔で話しました。



くにびき青年連盟と育英北幼稚園が 新米「きぬむすめ」を味わう！

くにびき青年連盟（野津喜洋委員長）は12月18日、田植えや稲刈りなど米作りの指導にあたった育英北幼稚園を訪れ、園児たちが開催したおにぎりパーティーに参加し、収穫の喜びを味わいました。



おにぎりを作る園児

当日は、つき組の園児が、今回体験した田植えや稲刈りなど、お米ができるまでの過程を劇やクイズにして発表。

観劇した野津委員長は「自分たちの話しかしっかり伝わっていることが分かり、感激した。これからもご飯を残さず食べて大きくなってほしい」と話しました。

その後、おにぎり作りを開始。新米の香りに、園児たちからは歓声が上がリ、つやつやと輝く炊きたたのご飯をみんなでおにぎりにして試食しました。

白井杏樹さん（6）は「稲を上手に刈ることができたので楽しかった」と思い出を振り返り、法橋美月さん（6）は「上手に植えることができ、おいしいお米に育ってくれてよかったです」と笑顔で話しました。



みんなで試食！

地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

子育て応援イベント開催 家族で食農体験を実施！



大きなジャガイモを手に笑顔！

くにびき地区本部は11月30日、親子で食農体験を楽しむ「子育て応援」イベントを営農総合センターで開催し、参加した18世帯66名がじゃがいもの収穫やクリスマスリース作りなどを楽しみました。

開会式では、奥原展芳副本部長が「子どもの成長を見守り、地域を発展させるのもJAの役目。今日は家族で思う存分楽しんでほしい」と挨拶しました。その後、乃白町のカフェで雑貨等も取り扱っている「H A U S（ハウス）」のスタッフが講師になり、クリスマスリースの飾り付けを開始。参加者は思い思いに飾り付けをして、オリジナルのクリスマスリースを完成させました。

続いて、場所を地区本部前の花壇に移し、9月7日に参加者が植えたジャガイモの収穫を開始。JAの営農指導員から収穫の仕方について説明を受けた後、大きく育ったジャガイモを家族で協力し、収穫していききました。最後には、「ハウス」のスタッフが収穫したばかりのジャガイモを使用して調理したカレーライス等が振る舞われ、参加者は舌鼓を打ちました。

参加した子どもは「大きいジャガイモがたくさん取れて楽しかった」「かわいいうりすのでクリスマスに飾りたい」と笑顔で話しました。



カレーに舌鼓を打つ参加者

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り

くびきサンサン女子大開講 玄丹そばを使いそば打ちを体験

くびきサンサン女子大は12月7日、教育文化センターSan・san館で、そば打ち体験講座を開催しました。33名の学生が参加し、そば打ちの技術や打ちたてのそばのおいしさを体感しました。



工程について説明する細田さん

この講座は、松江市特産の「玄丹そば」について学び、その味や香りを楽しんでもらおうと企画したもの。

当日は、地元のそば打ち名人・細田純夫さん（玉湯町大谷）を講師に招き、そば打ちに挑戦。細田さんから「水加減に注意して」「はじめは丸く徐々に四角に広げて伸ばすように」などと実演つきのアドバイスを受けながら、真剣な表情でそばを打ちました。

講座終盤には、細田さんによる打ちたてのそばを全員で試食しました。



細田先生から指導を受ける学生

学生は「すべて手を使った作業。愛情が込められた食品だと改めて感じる事ができた」「先生の手際の良さに感動した。自分で打ってみると思うように再現できず、奥深さを感じました」などと感想を述べました。

共済友の会親睦旅行開催 善通寺や坂本龍馬記念館などを満喫！

くびき共済友の会（中倉清幸会長）は12月5、6日の両日、香川県の善通寺や高知県の坂本龍馬記念館などを満喫する親睦旅行を実施しました。参加した65名の会員は、1泊2日の旅行を楽しみました。

本企画は、会員同士の交流を深めるため、毎年企画しています。

初日は、弘法大師誕生の地でパワースポットとして有名な「善通寺」を参拝。その後、よさこい祭りについて学べる「高知よさこい情報交流館」の見学や、高知の味を存分に楽しめる「平成浪漫商店街ひろめ市場」での買い物を楽しみました。また宿泊は、町の中心地にありながら、郷土料理の皿鉢や大浴場が堪能できる「土佐御苑」で旅の疲れを癒しました。



翌日は、JA高知県ファーマーズマーケット「とさのさと」での買い物や「高知県立坂本龍馬記念館」などを見学。その後、昼食場所の「かつお船」では、鯉の薫焼きを一人ずつ体験し、焼き立てに塩を付けて食べるタタキに舌鼓を打ちました。参加者は「自分で作った鯉のタタキは絶品だった」「久しぶりに会えた人もいて、とても有意義な旅行だった」と満足そうに話しました。

特殊詐欺を未然に防止！ 警察から感謝状

JAしまね古江支店は12月23日、特殊詐欺を未然に防いだとして松江警察署から感謝状を受け取りました。

12月4日、「Wifi iの使用料30万円を昼までに支払ってほしい」と業者を装う電話を受けた松江市在住の組合員が、不安に思い同支店を訪れ、窓口担当の樋口麻友佳職員に相談。状況を聞いた池田久夫支店長が、詐欺の可能性が高いと判断し同署に通報しました。駆けつけた警察官が相談に来ていた組合員の息子を演じ、相手方と電話で交渉した結果、詐欺だと判明。振込を未然に阻止しました。



感謝状を受け取る池田支店長

同警察署の伊藤敏成署長から感謝状を受け取った池田支店長は「大事な財産を守ることができてよかったです。今

後も、地域の金融機関として、組合員・利用者の皆さんに寄り添い、必要とされる存在であり続けたい」と話しました。

当地区本部では毎年、年末に同警察署の協力のもと、防犯研修を行い、職員教育に努めています。



感謝状を手にする樋口職員(左)、池田支店長(中央)と伊藤署長(右)

くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



のっぺ汁

昔は神棚に供えていた野菜のお下がりなどを使用して調理されていたそうです。今回は里芋、ゴボウ、ニンジンなど旬の野菜を使い、具だくさんに仕上げました。栄養満点で体が温まるので寒い時期に人気の逸品です。

【材 料】(4人分)

- ・鶏肉…………… 150g
- ・里芋…………… 4個
- ・ニンジン………… 中1/2本
- ・ダイコン………… 140g
- ・干しいたけ… 2~3枚
- ・ゴボウ…………… 1本
- ・青ネギ…………… 適量
- ・だし汁… 5カップ(和風だし)
- ・片栗粉…………… 大さじ1
- ・薄口しょうゆ… 大さじ2
- ・塩…………… 少々

【作り方】

- ①里芋は皮をむいて1cmくらいの輪切りにし、塩少々でもみ水洗いしてぬめりをとる。
- ②ダイコン、ニンジンは1cmくらいのいちょう切り、鶏肉は1.5cmくらいの角切り、ゴボウは斜め切りにして水につける。干しいたけはぬるま湯でもどして、太めの千切りにする。青ネギは小口切りにする。
- ③鍋にだし汁を入れ火にかけ、ネギ以外の野菜と肉を入れアクを取りながら軟らかくなるまで煮る。
- ④軟らかくなったら醤油を入れ塩で味を調える。
- ⑤水溶き片栗粉を入れ、とろみをつける。
- ⑥お椀に入れ、ネギをちらし出来上がり。



今月の料理人

古江支部
高麗 優子 さん (左)
藤原 郁子 さん (右)



肉の代わりに油揚げやちくわを入れるとあっさり仕上がります。また、お好みで七味唐辛子を入れても美味しいです。

参加者募集!

サン●サン 料理教室

日時

令和2年2月20日(木) 10:00~13:00
※定刻になり次第開始しますので、時間に余裕をもってお出かけください。

場所

くにびき地区本部
San・san館
松江市西川津町1635-2

家の光講師の飯塚生美子さんに、みんなで楽しめるひなまつり料理を紹介していただきます!お祝いやおもてなしにもおすすめです!色とりどりの食材を使用し、食卓を綺麗に彩りましょう!



2月のメニュー 「ひなまつり料理」

- ★ケーキごはん ★紅白でまりの白味噌仕立て
- ★鶏肉のチーズつまみれ ★おからパウダーでポテトサラダ
- ★おっばい大福 (メニューは都合により変更させていただくことがあります)

募集人数 25名程度

組合員、利用者、松江市民の方を対象に募集します。(男女を問いません)

参加費 1,800円 (当日現金にて申し受けます)

準備品 エプロン・三角巾・マスク・筆記用具など

申込締切 令和2年2月10日(月)

お申込み/お問い合わせは

①住所②氏名③電話番号をご記入の上、ハガキまたはFAX、Eメールでお申込みください。

〒690-0823 松江市西川津町1635-1

JALまねくにびき地区本部 企画総務部 ふれあい課・サンサン料理教室係

TEL: 55-3018 FAX: 32-6870

E-mail: community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

※定員になりお断りする場合は電話にてご連絡いたします。連絡がない場合は当日会場までお越しください。

J A の 普 通 傷 害 共 済

日常生活での不慮の事故で負傷されたときに共済金をお支払いします

特長1 治療中でも共済金をお支払いします！

特長2 0歳～99歳までご加入できます！

共済金お支払い方法

災害でケガをされ、入院または通院された場合、そのケガの部位と症状が確認できれば共済金をお支払いいたします。

●災害を受けた日から200日以内に入院したとき、または入院しなかった場合で、通院した日数が5日以上するとき

部位・症状別治療共済金額 × 支払倍率表の倍率
(部位・症状に応じて5倍～120倍)

＜お支払の一例＞ 部位・症状別治療共済金額3,000円の場合
転倒して腕を骨折し、5日以上通院したとき…

部位⇒『上肢』 症状⇒『骨折』
支払倍率表の倍率・・・「3.5倍」
お支払いする共済金は、
105,000円 となります。



●災害を受けた日から200日以内に入院しなかった場合で、通院した日数が5日未満で治療が完了したときは、部位・症状別共済金額の2倍のお支払となります。

J A しまね くにびき地区本部の各支店にお申込みください！

加入は
今がチャンス

1万人以上の方が一斉にご加入される、お得な「**集団扱い契約**」での共済掛金でご加入いただけます。

掛金例：1年分の共済掛金です。()内は個人扱いで加入する場合の共済掛金です。

令和2年2月5日契約 (保障期間：令和2年2月5日～令和3年2月5日)
集団扱い契約の普通傷害共済掛金(令和2年2月掛金適用)
【死亡共済金額300万円の場合】※81歳～99歳の方は死亡共済金額50万円です。

年齢	部位・症状別 治療共済金額	職業・職種区分	
		1級	2級
0歳～69歳	3,000円	7,680円(9,600円) 農業、事務員、主婦、 販売員、バス運転手など	9,840円(12,300円) 漁業、土木・建設作業員 など
70歳～80歳	2,000円	6,060円(7,570円)	7,820円(9,780円)
81歳～99歳	2,000円	職業にかかわらず 8,850円(11,065円)	

お引き受けできない方 ○年齢が100歳以上の方 ○全盲、認知症等の現症を有する方
○職業によってはお引き受けできないこともあります

※この記事は、共済の概要を説明しています。ご契約の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。【19320320201】



まるごとリフォームをお考えの方へ
新築そっくりさん

新春 住まいの **大リフォーム博** 2020

今ある家を
快適に住みやすい
空間に



新築そっくりさん
施工例



特典1 **クオ・カード1,000円分**

※当社指定のアンケートにご記入頂いた新築のお客様に限らせて頂きます。※1家族につき1回となります。※商品がなくなり次第終了となります。※商品が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。※商品は後日ご自宅へのお届けとなります。※詳しくは当社スタッフにお尋ねください。※イラストはイメージです。

特典2 **新規現地調査特典**
住まいのアイデア図鑑プレゼント!

イベント当日ご来場頂き、当日現地調査をご依頼頂いたお客様限定
※商品は現地調査後のお渡しとなります。※数に限りがございます。
※商品が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

くにびきメッセ
(島根県立産業交流会館)

1/17(金) 18(土) 19(日)

【開催時間】10:00～17:00 入場無料 予約不要

◆ 住友不動産の新築そっくりさん ◆ 住友不動産の新築そっくりさん ◆ 住友不動産の新築そっくりさん ◆ お問い合わせ — くにびき地区本部 生活総合課 ☎55-3040

令和元年度「集落座談会」開催のご案内

恒例の「集落座談会」を令和2年1月24日から2月15日にかけて120会場で開催します。くにびき地区本部の事業概要や営農計画などについてご説明します。何かとご多忙の折とは存じますが、ご出席を賜りますようご案内します。会場別の詳しい日時は最寄りの支店よりご案内いたします。

支店別の開催時期(全120会場)

支店	川津	古江	法吉	津田	乃木	鹿島	島根	八束	美保関	東出雲	八雲	宍道	玉湯
会場数	30	23	14	9	9	4	5	1	6	7	5	3	4
開催時期	1/24～ 2/15	1/24～ 2/10	1/25～ 2/10	1/25～ 2/7	1/24～ 2/9	2/3～ 2/4	1/31～ 2/5	2/7	1/28～ 2/6	2/4～ 2/13	1/26～ 2/2	2/1～ 2/15	1/28～ 2/1

2月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料で
お受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・時間
3	月	税務相談会	川津支店 (TEL: 23-2424) 10:00～12:00
4	火	税務相談会	法吉支店 (TEL: 21-3690) 10:00～12:00
5	水	税務相談会	津田支店 (TEL: 24-1818) 10:00～12:00
6	木	税務相談会	東出雲支店 (TEL: 52-2022) 10:00～12:00
7	金	税務相談会	八束支店 (TEL: 76-2525) 10:00～12:00

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までお願いいたします。予約先:開催会場となる支店・店

○くにびき地区本部金融共済部ローン営業センターでは、土曜日(10:00～15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※2月の土曜営業日は1日、15日、29日です。

◆お問い合わせは

☎0120-988-380

2月 ふれあい訪問日

2月18日(火)・19日(水)

タテのカギ

- ①雲が浮かんだり星が輝いたり
- ③ 2月23日は——誕生日。国民の祝日です
- ⑥受験生が縁起を担いで食べることもある揚げ物
- ⑧人が並ぶとできます
- ⑨港——。城下——。——工場
- ⑩良いだしが出る海藻
- ⑫しばしば野党とやり合います
- ⑬2020年は——年。2月が29日まであります
- ⑮将棋の盤面に並べる物
- ⑰走り高跳びの選手が飛び越えます
- ⑱読経に合わせてポクポクたたきます
- ⑳縁、結、続に共通の部首
- ㉑XとZの間

ヨコのカギ

- ①鬼は——、福は内
- ②天井とかもいの間で作られます
- ③元素記号はFe。身近な金属です
- ④銭湯へ入るときにくぐることも
- ⑤床側に腹を向けて寝そべります。——寝
- ⑦自然の美しい風景を表す言葉、——風月
- ⑩ちらしやCMもこの一手法
- ⑪赤い花が咲く梅のこと
- ⑭√の記号で表します
- ⑯出発——になって忘れ物に気付いた
- ⑱寺院へ入るときにくぐることも
- ⑲酒を飲むと回る人もいます

二重マスの文字をA～Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6		11	13	17	20
2		9		14		
	7		12			
3					18	
		10		15		
4	8			16		21
5					19	

答え

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2020年2月5日（水）（当日消印有効）

先月号の答え

「エキデン」

ハ	ソ	モ	ウ	シ	オ
ヤ	マ	チ	カ	ミ	セ
ク	フ	ジ	カ	チ	
チ	エ	ロ	ゲ	ン	リ
コ	イ	カ	コ	ヨ	
ト	ジ	ブ	タ	オ	ウ
バ	キ	ズ	グ	ス	リ

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



風邪の予防に乾燥対策を!

JA島根厚生連

冬は寒いだけでなく、空気中の湿度が低くなり乾燥も気になる季節です。部屋を暖めるために暖房を使用することも多いと思いますが、それによって湿度はさらに下がり、空気がより乾燥してしまいます。

空気の乾燥は、髪や肌など美容面への影響だけでなく、口や鼻の粘膜を乾燥させ風邪やインフルエンザなどの感染に対する防御機能を低下させてしまいます。そのため、風邪にかかり、体調を崩す方も多くなります。子どもや高齢の方は抵抗力が弱く、大人に比べるとウイルスに感染しやすいです。そこで、乾燥対策をしっかり行い、風邪やインフルエンザの予防に努めることが大切になります。

生活をするうえでの適正な湿度は、40～60%と言われています。湿度が40%を下回るとインフルエンザウイルス等が浮遊しやすくなってしまいます。反対に湿度が高くなり、50%以上になるとそれらは減少すると言われています。まずは、自分の部屋の湿度がどのくらいなのかを知るためにも、湿度計を使い部屋の湿度を確認してみましょう。加湿



の方法として、加湿器の使用は有効です。また、加湿器を使う以外にもストーブの上やかんを置いたり、濡れたバスタオルや洗たく物を室内に干したりすることでも乾燥対策になります。

風邪やインフルエンザの予防には、もちろん手洗いやうがい、免疫力を上げるための食事・睡眠も効果的です。加えて今年は乾燥対策をして、より快適に、より健康に冬を過ごしてみませんか。

JALしまね組合員様限定

足立美術館 優待プラン

入館料金(大人1名様) 通常 2,300円 → 1,500円(税込)

特別割引券をご用意しております。

ご希望の方は最寄りのJA旅行センター又は
県内農協観光各支店にご依頼下さい。

※ご利用対象はご本人様及びご家族と
させていただきます。

高校生 / 通常 1,000円 → 700円
小中学生 / 通常 500円 → 300円



横山大観「神国日本」(昭和17年)

〈冬季特別展〉2月29日(土)まで開催中 日本画のテーマ 巨匠が愛した美

画家たちが生涯に数多く描いたテーマに注目して作品をご紹介します。
日本画の巨匠たちが愛し、追求した美をお楽しみください。



JR安来駅より無料シャトルバスあり。
ダイヤはホームページでご確認ください。
<http://www.adachi-museum.or.jp/>



■開館時間 / 10月~3月: 午前9時~午後5時
4月~9月: 午前9時~午後5時30分
年中無休(新館のみ展示替えのため休館日あり)

足立美術館
ADACHI MUSEUM OF ART
安来市古川町320 TEL.0854-28-7111 FAX.0854-28-6733

開館50周年記念 『魯山人館』2020年4月1日オープン

足立美術館が開館50周年を迎える
2020年春、新たに『魯山人館』が
オープンします。

北大路魯山人の作品を鑑賞するため
に設計された展示空間で、当館コレ
クションの中から、常時約120点を
ご紹介します。魯山人の芸術を心ゆく
まで堪能できる場となることでしょう。



株式会社農協観光

農協観光 島根支店 ☎0852-26-2600
JAしまねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699
JAしまね雲南旅行センター ☎0854-42-9118

農協観光 出雲営業支店 ☎0853-21-3305
JAしまね斐川旅行センター ☎0853-73-9625
JAしまね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501

JAしまね鳥根おち旅行センター ☎0855-83-0008
JAしまねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820
JAしまね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587

[プラン有効期限] 2021年3月31日まで

得々プラン

山陰・山陽×沖縄
ケンミンSHOKU会席

期間 令和年 1/5日~4/26日

お1人様/1泊2食付 一室3名様~ **12,000円** (税込)

お1人様/1泊2食付 一室2名様 **14,000円** (税込)

除外日: 土曜日、休前日

●入湯税150円別途頂戴致します。
●お部屋のタイプとご夕食会場はホテル側おまかせとなります。
●夕食会場の個室指定は別途料金を頂戴致します。

2名様~14名様
日~金限定
1日5組限定

のどぐろ飯
ホテル玉泉
鯛と白葱鍋
鳥取県
牡蠣の土手焼き
広島県

山陰・山陽×沖縄
ケンミンSHOKU会席

一食前酒 柚子ワイン
一前菜 沖縄の豆腐珍味
一湯羹 しょうが汁(豆腐)
一刺身 さくら(すし)豆鮓
一焼物 ミニ焼物(4種)
一焼物 鯛と白葱鍋(4種)
一焼物 サワラ煮り
一焼物 熟成しほ和牛90分焼き
一焼物 牡蠣の土手焼き
一焼物 蟹と手巻の饅頭 すずな焼物かけ
一焼物 心く刺し
一食前酒 のどぐろ飯 ホテル玉泉オリジナル
一デザート 梨のコンポート

島根 鳥取

お申し込みはお近くの【JAしまね】旅行センターへ

JAしまね 旅行センター本部 TEL.0853-25-8907	農協観光出雲営業支店 TEL.0853-21-3305	いわみ中央旅行センター TEL.0855-22-8820
農協観光 島根支店 TEL.0852-26-2600	斐川旅行センター TEL.0853-73-9625	西いわみ旅行センター TEL.0856-22-8587
やすぎ旅行センター TEL.0854-28-6699	石見銀山旅行センター TEL.0854-82-3501	農協観光浜田支店 TEL.0855-22-1536
雲南旅行センター TEL.0854-42-9118	鳥根おち旅行センター TEL.0855-83-0008	

ホテル玉泉 利用割引

JA共済保養施設利用割引がご利用頂けます。

割引対象 / 島根県JA共済加入者、組合員およびその家族
割引金額 / 宿泊 2,000円 休憩 1,000円
※一人当たりの利用金額が3,500円以上の場合適用致します。



出雲・玉造温泉 政府登録国際観光旅館(登録第880号)
島根県松江市玉造町玉造5-3-2
<https://www.hotel-gyokusen.co.jp>
TEL.0852-62-0021(代)

かざりかまぼこ (・ばら・うさぎ)



お正月に残ったかまぼこを使い楽しい飾り切をしてみませんか。お弁当に入れたり、食卓にだしたり笑顔が増えますよ。

●材料

◆ばら◆	◆うさぎ◆
かまぼこ赤板…………… 1本	かまぼこ赤板…………… 1本
いんげん…………… 1本	ごま

●作り方

◆ばら◆	◆うさぎ◆
①板かまぼこを2～3cmに1枚切る。薄く2枚切る。	①板かまぼこを幅2cmぐらいに切る。
②厚い1枚の真ん中に切れ目を入れる。	②かまぼこの赤と白の境目を2/3切る。
③薄い2枚をくるくる巻き②のかまぼこの中に花になるように入れる。	③赤い部分をうさぎの耳になるように中に巻く。
④硬めに茹でたいんげんを斜めに切り葉に見えるように入れる。	④ごまで目を付ける。

かす汁



ほかほか体が温まる汁物がうれしい時期ですね。鮭の粕汁は寒い冬の汁物におすすめです。酒粕と甘めの味噌でこっくりした味に仕上げ、鮭を加えてボリュームをたすレシピです。冬においしい酒粕をぜひ試してみてください。火を通すのでアルコール分はなくなっています。

●材料 (4人分)

塩サケ…………… 100g	青ネギ…………… 20g
大根…………… 160g	酒粕…………… 40g
人参…………… 1/3本	みそ…………… 60g
里芋…………… 80g	だし汁…………… 800cc
薄揚げ…………… 1枚	

●作り方

①塩サケは塩抜きして1.5cm角に切る。	⑥野菜に火が通ったところに塩サケ、薄揚げ、溶かした酒粕を入れる。
②大根、人参は短冊切りにする。	⑦野菜が柔らかくなったら味噌を入れる。(塩サケの塩分がある場合は少なめてください)
③里芋は1cmの輪切り。	⑧器に入れ小口切りの青ネギを入れる。
④薄揚げは0.5cmの千切り。	
⑤鍋にだし汁、野菜を入れて煮込む。	

牡蠣とねぎのそば



とろみのついたあんかけの「牡蠣とねぎのそば」は、いつまでも温かくて体を温めてくれます。牡蠣を入れたら煮すぎないのがポイントです。(牡蠣が硬くなります)

●材料 (2人分)

牡蠣…………… 1パック150g	水+めんつゆ…………… 400cc
白ネギ…………… 1本	しょうゆ…………… 少々
そば…………… 2玉	片栗粉…………… 大さじ2
ゆず…………… 少々	水…………… 大さじ3
七味…………… 少々	

●作り方

①牡蠣は塩をふってもみ、流水の下で洗ってから水けを拭く。	入れて煮る。
②白ネギは長さ4～5cmの斜め切りにする。	⑥沸騰したら味をみて、しょうゆ少々を加え、白ネギが柔らかくなったたら牡蠣を入れて、身がふくらとするまでさつと煮る。
③ゆずは皮の部分だけ千切りにする。	⑦水溶き片栗粉を回し入れ、とろみをつける。
④片栗粉と水を混ぜ合わせ、水溶き片栗粉を作る。	⑨ゆでたそばに⑧をかけゆずと七味をかける。
⑤鍋に水とめんつゆ、白ネギを	

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は津和野町左鏡の京村牧場から見る雲海です。盆地地形の津和野では、冷え込んで晴れた風の弱い朝などの条件が揃った時に「津和野の朝霧」と呼ばれる霧が濃く発生します。映画「高津川」で主人公が営む牧場のロケ地となった京村牧場からは、眼下に広がる幻想的な雲海を見ることができます。(注:京村牧場は私有地ですので、無断の立ち入りはご遠慮ください)

編集後記

年末に発表される、1年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」。2019年は、新しい元号から『令』の文字が選ばれました。取材で大勢の方と出会った私の、昨年を表す漢字は『会』。今年も県内各地での出会いを大切に、充実した誌面を作ります。12月には「今年の漢字は『成』」と皆様に報告できるよう1年を過ごします。(和)

【今月の表紙の原画】

原画の全体は次のとおりです。

